

# SNS 十二小ルール

子どもたちが SNS を通じて、いじめやトラブル、犯罪などに巻き込まれないようにするとともに、学習や生活習慣への悪影響を防ぐために SNS を利用する際のルールを策定しました。このルールは SNS を使うことを奨励するものではありません。以下のルールについて、学校でも指導していきますので、ご家庭でも、ルールが守られているかご確認いただくとともに、情報機器の使い方について今一度、話し合ってくださいと思います。

このルールは、子どもたちとも話し合い、実態に合わせてつくるルールです。随時、改訂していきます。

## OSNS とは

ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。インターネットや無線通信上で人と人とを結び付ける、コミュニケーション機能をもつサービスのことです。

(メール、掲示板、無料通話アプリ、携帯型ゲーム機、ゲームアプリ、画像・動画投稿サービスなど)

## 【 低学年のルール 】

- じかんをきめて、テレビやゲームをつかう。
- ゲームなどは、おうちの人にせっていしてもらって(フィルタリングをかけてもらって)からつかう。
- パソコンやスマートフォンは、おうちの人のきよかをもらってつかう。
- 知らない人にじぶんやともだちのでんわばんごうなどはおしえない。
- てがみをかくときは、あいてのきもちをかんがえて、わるぐちなどはかかない。



## 【 中学年のルール 】

- 家族と相談して時間を決め、家族に見守ってもらいながらテレビやゲーム、パソコンなどを使う。
- パソコンやスマートフォンを使う時は、大人と一緒に使う。
- ネットワーク上の「友だち」の特徴と危険性に気をつけながら使う。
- インターネットやメール、メッセージなどに自分の住所や電話番号を入力しない。
- 用事があるときはメールやメッセージではなく、直接会って伝える。



## 【 高学年のルール 】

- 家族と相談して時間を決め、それを自分で守ってテレビやゲーム、パソコンなどを使う。
- パソコンやスマートフォンを使う時は、みんなに見られているという意識をもって使う。
- 自分のだけでなく、友達個人情報や画像をインターネットやメールに入力、アップロードしない。
- パソコンやスマートフォンにはロック、パスワードを設定する。
- 情報を書いた人や発信した人の意図を考えて情報を受け取る。(全て本当とは限らない)



パソコンやスマートフォンだけでなく、携帯型ゲーム機などでも SNS は利用できます。これらの情報機器を子どもたちに持たせる場合は、危険やトラブルから守るためにも、ご家庭でしっかりとルールを決め、使い方を注意深く見守っていただけますよう重ねてお願い申し上げます。